

フォーラム参加者の感想

全体の7割弱が20～40代の方で、8割は女性でした。

人生は復元力があるということや、1回や2回の失敗は大丈夫だという話を聞いて、人生くだり坂と半ばあきらめの境地から何かもう少し新しい地平が見えてきた思いがした。
(60代女性)

とても参考になる話でコンパクトにまとまっていました。大田区はスゴイと思いました。
(20代男性)

おふたりともとても魅力的で話しに引き込まれました。何かを成し遂げる覚悟の大切さを痛感しました。自分もこれから根性をもって仕事に取り組んでいきたいと思います。
(40代女性)

「こうしなければならぬ」という押し付けではなく「こういう生き方がある」というストーリーとして語られたのが良かった。
(20代女性)

私は男性ですが、2人の素晴らしい生き方に感動し、同時に男性はもっとがんばらないといけないと思いました。「失敗はない、それは成功への準備段階である」(諏訪さん談)は名言ですね。
(40代男性)

たくさんのピンチを切り抜けてきたパワーあふれるお話が聞けてよかったです。紅一点で大変だったけれどやれなくはない、という言葉にこれからの大田区、はては日本も希望がもてると思いました。
(40代女性)

諦めないポイント

奥山 諏訪さんも最初の頃は二代目しかも女性、というので多分相当の葛藤と闘いがあったと思うんです。私も30代前半で起業した当時は、周りに女性の経営者がほとんどいなかったので大変な思いをしました。今でこそ町工場

の取材をさせて頂いていますが、最初は「女が町工場に来るなんて十年早いよ」と言われたんです。20回以上取材の電話をしても応じて頂けなかった経験もあります。こういうことは長い年月をかけて信頼関係を築いて結果を出してゆくことですよね。その辺はいかがですか。

諏訪 いまだに紅一点なんです、最

初の頃は自動車業界の経営者会議に行く、秘書や運転手に間違われ会議に入れなかったこともあったんです。やはり紅一点は目立ち注目されるので、居眠りなんて絶対出来ませんね。目立つと何が起るかというと、ライバル会社からは避けられるんですね。彼らは男性社会でやってきたので、女性が入ることにとっても違和感があるし慣れ

てないんです。エレベーターでは「女なので目立っているのだぞ」とか「親の七光りだからな」とか言われましたが、それがいま十年経ちましてようやくお互いに慣れてきたというところでしょうか。時間はかかりましたがやれなくはないなと思っています。

奥山 仕事や信頼関係や人間関係を築くのに、ショートカットは無いですよね。こつこつ積み上げて行って人となりをわかっていただき、それでやっとお話が出来たりですね、やはり年月が解決してくれるんですね。諦めないことですかね、諏訪さんの諦めないポイントは何かでしょうか。

諏訪 私の場合は「負けず嫌い」ですね。経営者は目標をしっかり持ちぶれない軸を持つことが大事です。負けてなるものと自分を追い込むことで、奮い立つ、会社を守る強い意志だと思います。歴史的にみても日本人というのは、いくつもの困難や苦難を乗り越えて成長してきた国民です。今、空洞化などが叫ばれています。何かしら糸口を見つけてそれをチャンスとして成長してゆくことを願っています。